

第4回 気候変動対策に関する意識調査

1 調査目的

気候変動対策について、県民の認知度・意識等を把握し、今後の施策に反映させるため本調査を実施します。

(担当課:環境森林部気候変動対策課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

708名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和8(2026)年7月14日～7月27日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。MicrosoftFormsにより回答

3 回答者属性

回答数 438 名 (回答率61.9%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	182	41.6 %
女性	251	57.3 %
未回答	5	1.1 %
計	438	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	0	0.0 %
20代	10	2.3 %
30代	26	5.9 %
40代	109	24.9 %
50代	122	27.9 %
60代	107	24.4 %
70代以上	64	14.6 %
計	438	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	222	50.7 %
県南	123	28.1 %
県北	93	21.2 %
計	438	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

4 調査結果

問1 気候変動の影響により、真夏日や猛暑日が増加しており、熱中症の危険性が増しています。あなたが実施している熱中症対策は何ですか。

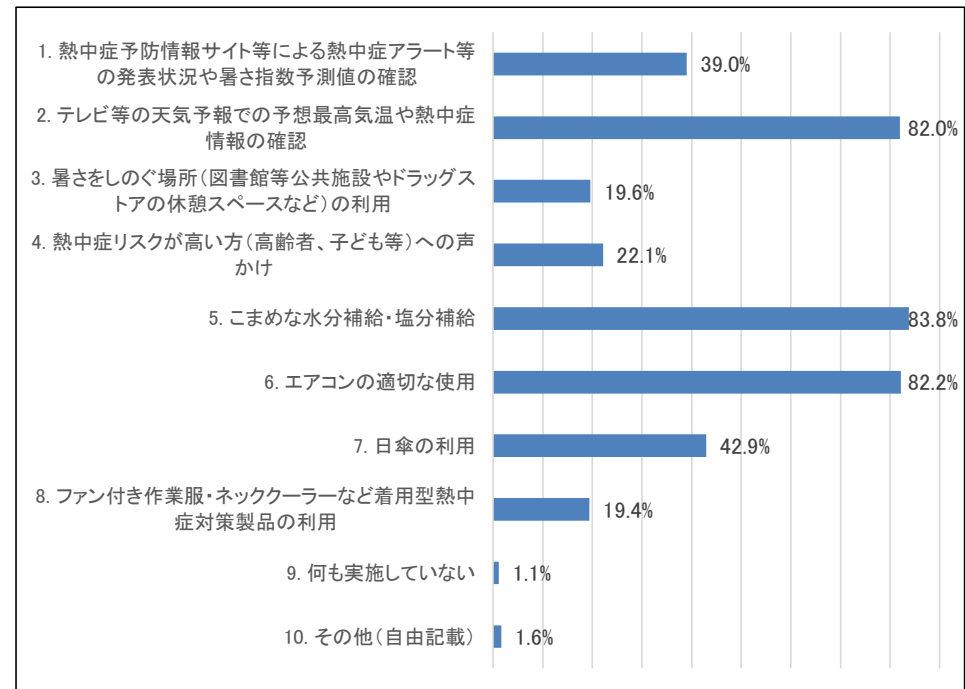
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 熱中症予防情報サイト等による熱中症アラート等の発表状況や暑さ指数予測値の確認	39.0%	171
2 テレビ等の天気予報での予想最高気温や熱中症情報の確認	82.0%	359
3 暑さをしのぐ場所（図書館等公共施設やドラッグストアの休憩スペースなど）の利用	19.6%	86
4 熱中症リスクが高い方（高齢者、子ども等）への声かけ	22.1%	97
5 こまめな水分補給・塩分補給	83.8%	367
6 エアコンの適切な使用	82.2%	360
7 日傘の利用	42.9%	188
8 ファン付き作業服・ネッククーラーなど着用型熱中症対策製品の利用	19.4%	85
9 何も実施していない	1.1%	5
10 その他（自由記載）	1.6%	7

(n = 438)

【その他の主な意見】

- ・ 涼しい服装
- ・ よしず使用、扇風機使用、保冷剤で首などを冷やす



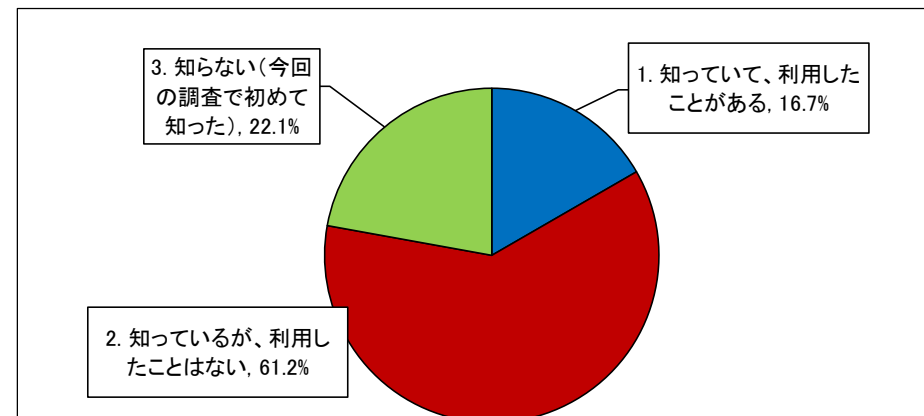
問2 暑さをしのぐ場所として、誰でも利用できるクーリングシェルター(※)があることを知っていますか。

※クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）とは、誰でも利用できる冷房設備のある施設のことで、県内の全25市町で合計818箇所（R8.5.1時点）が指定されている（県、各市町のHPで場所や利用可能時間等の確認が可能）

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 知っていて、利用したことがある	16.7%	73
2 知っているが、利用したことはない	61.2%	268
3 知らない（今回の調査で初めて知った）	22.1%	97

(n = 438)



問3 問2で「2知っているが、利用したことはない」を選択された方にお聞きます。あなたがクーリングシェルターを利用しなかった理由は何ですか。

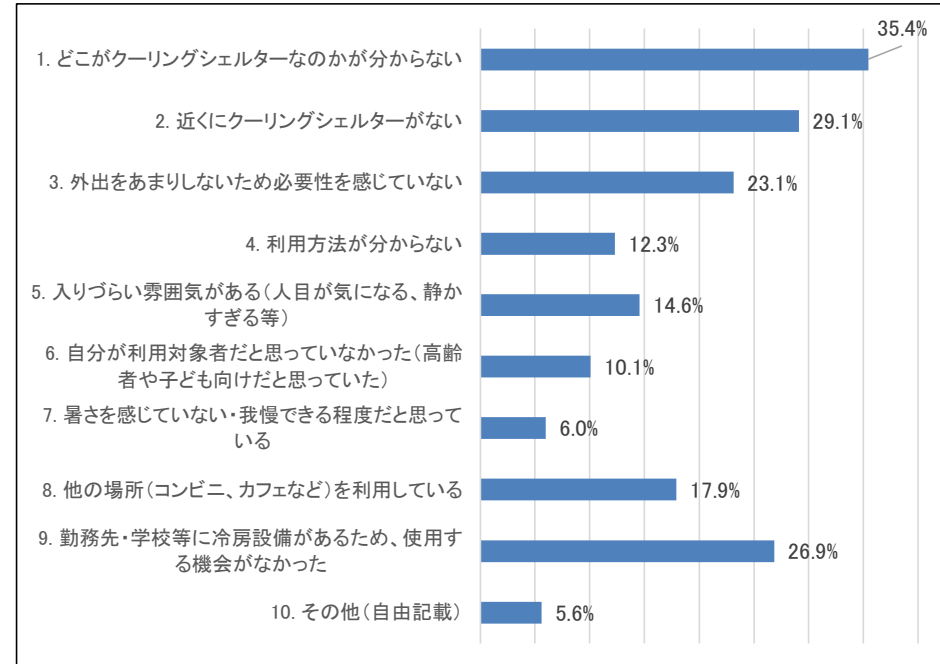
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 どこがクーリングシェルターなのかが分からない	35.4%	95
2 近くにクーリングシェルターがない	29.1%	78
3 外出をあまりしないため必要性を感じていない	23.1%	62
4 利用方法が分からない	12.3%	33
5 入りづらい雰囲気がある(人目が気になる、静かすぎる等)	14.6%	39
6 自分が利用対象者だと思っていなかった(高齢者や子ども向けだと思っていた)	10.1%	27
7 暑さを感じていない・我慢できる程度だと思っている	6.0%	16
8 他の場所(コンビニ、カフェなど)を利用している	17.9%	48
9 勤務先・学校等に冷房設備があるため、使用する機会がなかった	26.9%	72
10 その他(自由記載)	5.6%	15

(n = 268)

【その他の主な意見】

- ・わざわざ行く機会がない
- ・不要不急の外出は控えており、用事がすめば冷房した家にすぐ帰るようにしている



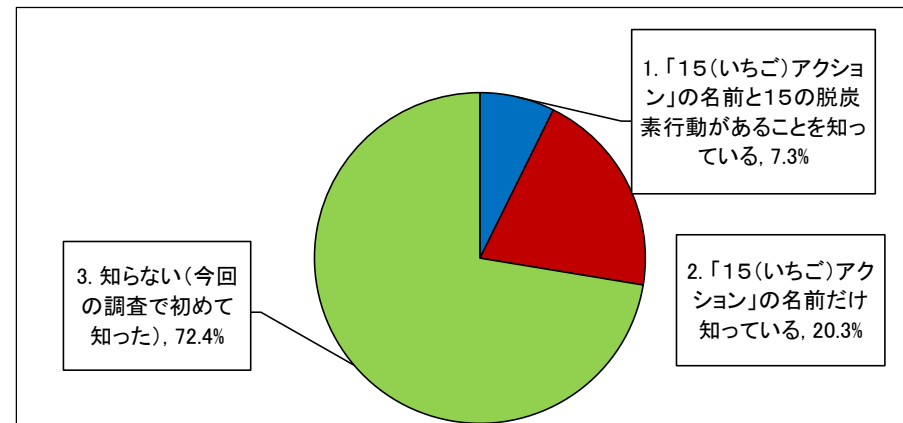
問4 栃木県では、2050年カーボンニュートラル実現に向けて脱炭素を軸とした「とちぎカーボンニュートラル15(いちご)アクション県民運動(※)」を展開していることを知っていますか。

※県民運動では、県民の皆様に取り組んでいただきたい15の脱炭素につながる行動(脱炭素行動)を「15(いちご)アクション」として情報発信しています。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 「15(いちご)アクション」の名前と15の脱炭素行動があることを知っている	7.3%	32
2 「15(いちご)アクション」の名前だけ知っている	20.3%	89
3 知らない(今回の調査で初めて知った)	72.4%	317

(n = 438)



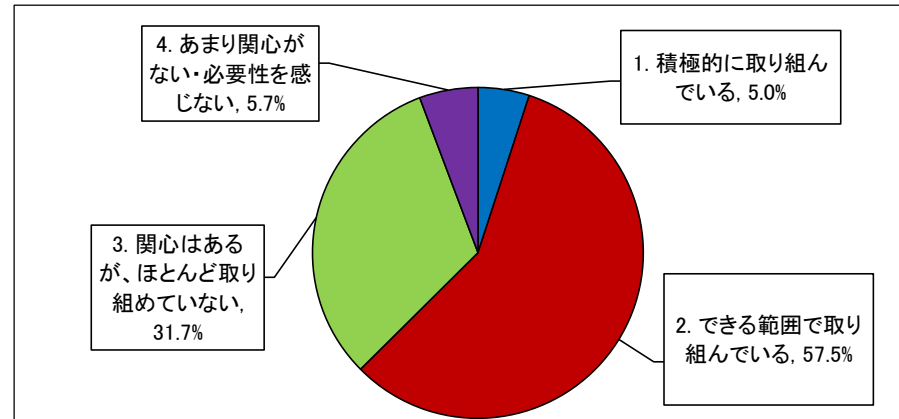
問5 脱炭素行動(※)について、あなたに最も近いものを選んでください。

※脱炭素行動とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出削減のため、日常生活における省エネ、食品ロス削減、公共交通機関の利用など、個人レベルでできる行動を指します(具体的な行動例は問6参照)。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 積極的に取り組んでいる	5.0%	22
2 できる範囲で取り組んでいる	57.5%	252
3 関心はあるが、ほとんど取り組めていない	31.7%	139
4 あまり関心がない・必要性を感じない	5.7%	25

(n = 438)

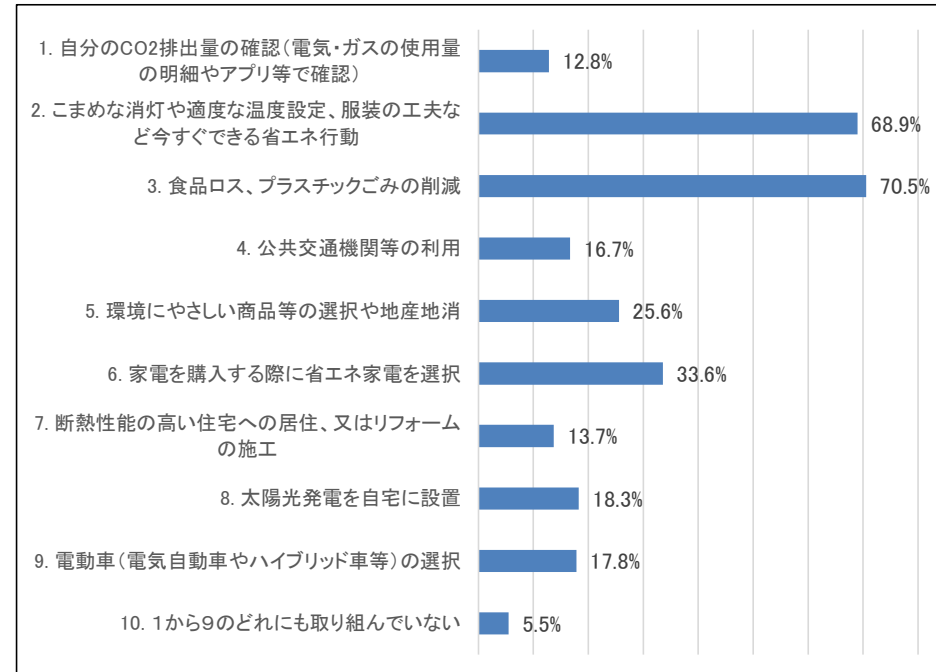


問6 あなたが取り組んでいる脱炭素行動を選んでください。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 自分のCO2排出量の確認(電気・ガスの使用量の明細やアプリ等で確認)	12.8%	56
2 こまめな消灯や適度な温度設定、服装の工夫など今すぐできる省エネ行動	68.9%	302
3 食品ロス、プラスチックごみの削減	70.5%	309
4 公共交通機関等の利用	16.7%	73
5 環境にやさしい商品等の選択や地産地消	25.6%	112
6 家電を購入する際に省エネ家電を選択	33.6%	147
7 断熱性能の高い住宅への居住、又はリフォームの施工	13.7%	60
8 太陽光発電を自宅に設置	18.3%	80
9 電動車(電気自動車やハイブリッド車等)の選択	17.8%	78
10 1から9のどれにも取り組んでいない	5.5%	24

(n = 438)



問7 あなたが脱炭素行動に取り組むときの支障もしくは取り組みにくい理由は何ですか。

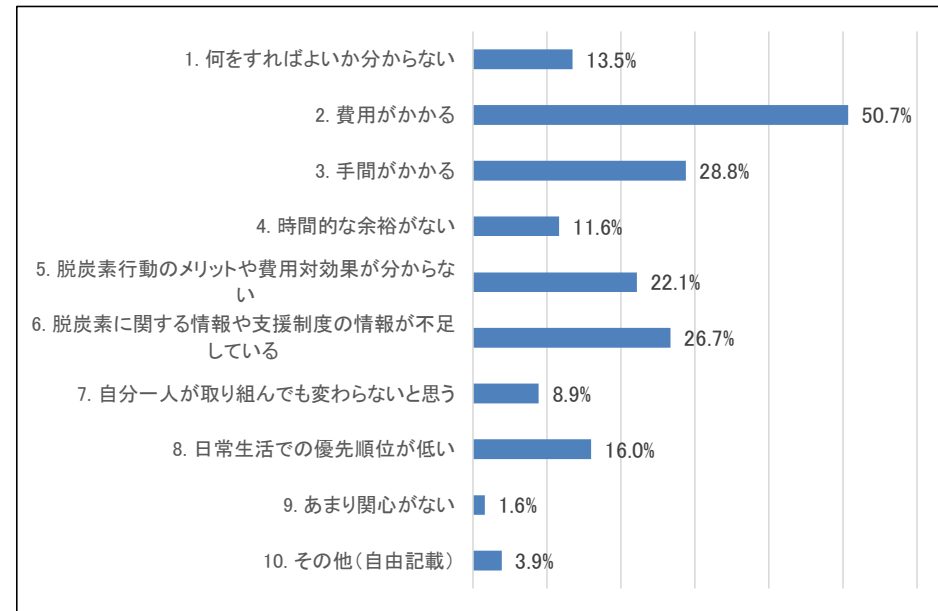
(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 何をすればよいかわからない	13.5%	59
2 費用がかかる	50.7%	222
3 手間がかかる	28.8%	126
4 時間的な余裕がない	11.6%	51
5 脱炭素行動のメリットや費用対効果がわからない	22.1%	97
6 脱炭素に関する情報や支援制度の情報が不足している	26.7%	117
7 自分一人が取り組んでも変わらないと思う	8.9%	39
8 日常生活での優先順位が低い	16.0%	70
9 あまり関心がない	1.6%	7
10 その他(自由記載)	3.9%	17

(n = 438)

【その他の主な意見】

- ・小さな子どもがいるため、家庭内での取組に限界がある(エアコン利用など)
- ・脱炭素がなぜ必要なのか理由がわからない



問8 県民の脱炭素行動を促すためには、どのような取組が効果的だと思いますか。

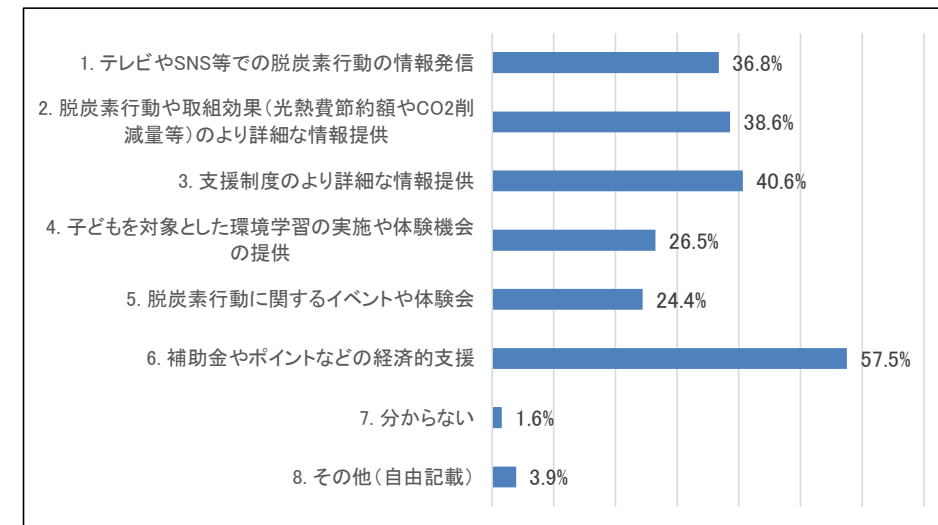
(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 テレビやSNS等での脱炭素行動の情報発信	36.8%	161
2 脱炭素行動や取組効果(光熱費節約額やCO2削減量等)のより詳細な情報提供	38.6%	169
3 支援制度のより詳細な情報提供	40.6%	178
4 子どもを対象とした環境学習の実施や体験機会の提供	26.5%	116
5 脱炭素行動に関するイベントや体験会	24.4%	107
6 補助金やポイントなどの経済的支援	57.5%	252
7 分からない	1.6%	7
8 その他(自由記載)	3.9%	17

(n = 438)

【その他の主な意見】

- ・個人だけでなく、自治体施設、会社単位で取り組む
- ・脱炭素行動は快適で質の高い生活につながるということのPR



問9 あなたが新たに脱炭素行動を始めるとしたら、その理由や目的として特に重視することは何ですか。

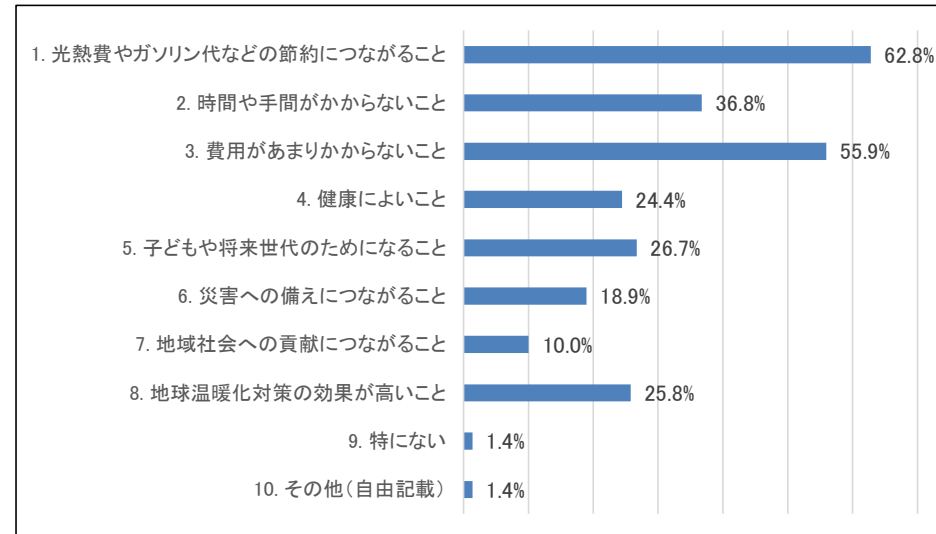
(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 光熱費やガソリン代などの節約につながる事	62.8%	275
2 時間や手間がかからないこと	36.8%	161
3 費用があまりかからないこと	55.9%	245
4 健康によいこと	24.4%	107
5 子どもや将来世代のためになること	26.7%	117
6 災害への備えにつながる事	18.9%	83
7 地域社会への貢献につながる事	10.0%	44
8 地球温暖化対策の効果が高いこと	25.8%	113
9 特にない	1.4%	6
10 その他（自由記載）	1.4%	6

(n = 438)

【その他の主な意見】

- ・生活費が安くなること
- ・ウェルビーイング（Well-being）につながる事



問10 各家庭の光熱費やエネルギー使用量などの情報を元に、各家庭のライフスタイルに合わせた省エネ・省CO2対策を提案する「うちエコ診断(※)」を知っていますか。

※環境省の公的資格を持った「うちエコ診断士」が、専用ソフトを使い、各家庭のエネルギー使用状況を「見える化」し、効果的な省エネ・省CO2対策を提案するとともに、対策を実施した場合の「光熱費の削減額」などをわかりやすく示すもの。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 知っていて、既に受診した	2.3%	10
2 知っていて、受診してみたい	11.6%	51
3 知っているが、受診してみたいとは思わない	18.3%	80
4 知らなかったが、受診してみたい	42.9%	188
5 知らなかったし、受診してみたいとは思わない	24.9%	109

(n = 438)

